

# 令和7年国勢調査の概要



- 国内在住の全ての人及び世帯を対象とし、国内の人口や世帯の実態を明らかにするもの（国の最も基本的で重要な統計調査として、大正9年（1920年）から5年ごとに実施）

## I 調査の概要

- 調査期日：令和7年10月1日（水）午前零時現在
- 調査対象：我が国に常住する全ての人（ふだん住んでいる場所で調査を実施）
- 調査項目：世帯員に関する事項：男女の別、出生の年月、就業状態、従業地（通学地）など13項目  
世帯に関する事項：世帯の種類、住居の種類、住宅の建て方など4項目
- 調査方法：調査員（前回定員：約70万人）が調査期日における全世帯の居住状況を実地に確認した上で調査書類を配布し、調査への回答を依頼（未回答世帯には実地に回答を督促）
  - ①インターネット、②郵送、③調査員への提出、のいずれかの方法により回答

※簡単・便利なインターネット回答を積極的に促進

## II 結果の公表時期

- 令和8年5月までに人口速報集計を、同年9月までに人口等基本集計結果を公表予定

## III 国勢調査の主な役割

- 衆議院小選挙区の改定、地方交付税の交付額の算定などにおける「法定人口」としての利用
- 国、自治体における人口減少や少子高齢化、防災・災害復興、地方創生など各種施策の基礎情報の提供
- 大学・研究機関における学術研究、経済界における市場分析・経営戦略の策定などへの利用 等